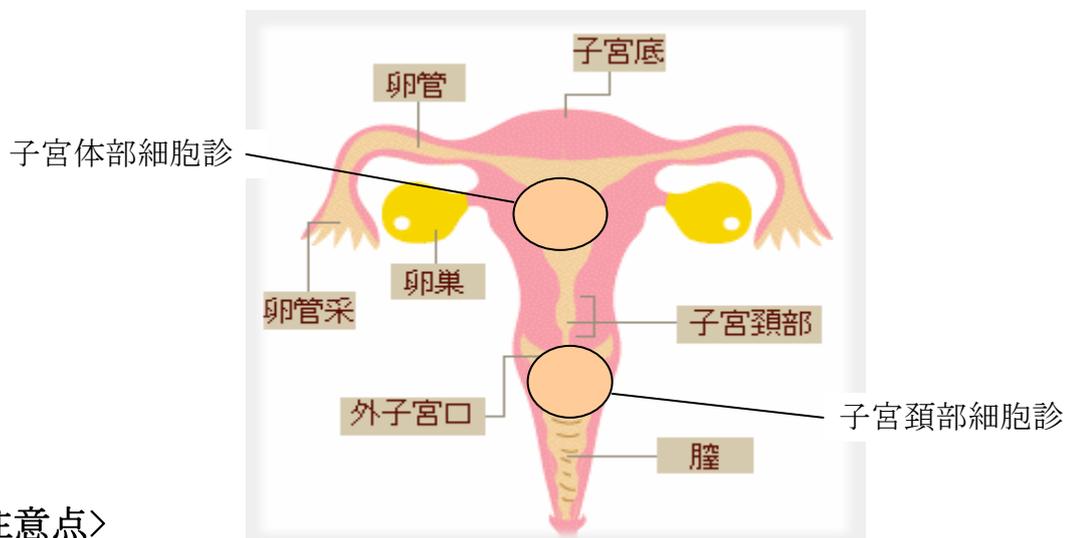


子宮ガン検診を受けられる方へ

1. 本で行う検診は①内診 ②超音波 ③子宮頸部細胞診 ④子宮体部細胞診です。
2. 検査について
 - ①内診 ②超音波について
膣から指を入れ、触診により子宮や卵巣を診察します。
しかし、小さな子宮筋腫や卵巣腫瘍はわからない場合があるため、超音波で診ます。
<注意点>
診察前には排尿をすませておいてください。また、診察時はできるだけ体の力を抜いてリラックスしてください。
 - ③子宮頸部検診について
綿棒で子宮頸部をこすることにより細胞を採取し、異常があるかどうかを顕微鏡で調べる検査です。
 - ④子宮体部検診について
ブラシで子宮の奥の部分をかすることにより細胞を採取し、異常があるかどうかを顕微鏡で調べる検査です。



<注意点>

正確な診断のためには、細胞をしっかり採取する必要があり、細胞を取る際にできる傷で2～3日出血する事があります。
少量の出血であれば心配はいりません。2～3日たっても出血が止まらない場合は受診してください。

本日()より2週間後に検査結果がでます。